



資料4

ワーキンググループの進め方について

第2回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市議場棟

平成23年5月20日(金)

ワーキンググループの組成について

あきたスマートシティ・プロジェクトの具体的な実施にあたっては、テーマ別のワーキンググループを組成し、類似テーマのプロジェクトの推進を行うものとする。

概要

- ワーキンググループは、事業を推進する民間企業・団体・学識者等で構成する。
- ワーキンググループは、必要に応じ適宜開催する。
- ワーキンググループにおける議論および検討内容については、適宜推進協議会に報告をする。
- 各ワーキンググループにはグループリーダーを設置し、議事の進行、推進協議会への報告を行う。なお、グループリーダーは中立的な立場のものとする。

WGの設定

- ワーキンググループおよびプロジェクトの関係は以下のとおり。

ワーキンググループ	プロジェクト
基盤・ESCOワーキング	スマートシティ情報統合管理基盤構築、「地域ESCO事業」秋田モデルの構築事業
地産エネルギー・グリーンツーリズムワーキング	地産エネルギー導入促進事業、グリーンツーリズム推進事業
モビリティ・地域通貨ワーキング	低炭素型モビリティ事業、電子地域通貨導入事業
新庁舎連携ワーキング	新庁舎建設との連携
地域LEEDワーキング	地域LEED認証取得による地域ブランド化
環境リーダー・ビジョンワーキング	アジア・アフリカ地域環境リーダーとの連携、あきたスマートシティのビジョン検討

基盤・ESCOワーキング

目的

スマートシティ情報統合管理基盤と、ESCO事業との連携を検討し、最適な情報の収集と活用を行う。

本年度実施内容

- 情報統合管理基盤とESCO事業との連携に関する検討。
- 市有施設に対する施設管理の情報統合管理基盤構築。
- ESCO事業対象候補施設に関する調査と対象施設の選定、一部の施設に関する事業化。

構成メンバー(案)

- システムベンダー(情報統合管理基盤構築事業委託先)
- ESCO事業者(ESCO事業委託先)
- 市有施設管理者(秋田市担当部局、指定管理者)

地産エネルギー・グリーンツーリズムワーキング

目的

秋田市の自然環境を活用し、創エネルギーや観光産業の実施により、低環境負荷型の都市づくりだけでなく、秋田市の新たな産業を創出する。

本年度実施内容

- 検討対象とする地産エネルギーの選定。
- グリーンツーリズムの実施方法検討。
- 関連企業、団体への事業参画の働きかけ。

構成メンバー(案)

- 日本総合研究所(地産エネルギー導入検討)
- 日本IBM(グリーンツーリズム実施検討)
- 農業、林業関連団体
- 新エネルギー関連機器メーカー
- 観光関連企業・団体

モビリティ・地域通貨ワーキング

目的

電気自動車(EV)や自転車等の低環境負荷型の交通手段を導入するとともに、既存公共交通との連携による利用促進を図る。市民のエコ活動に対し、ICカード等を活用した電子地域通貨によるポイント付与などにより、公共交通の利用促進などを図る。

本年度実施内容

- 公共交通との連携方策の検討。
- 秋田市における低環境負荷型交通手段の普及促進方策の検討。
- 関連企業、団体への事業参画の働きかけ。

構成メンバー(案)

- 日本総合研究所
- 交通関連事業者
- 観光関連企業・団体

新庁舎連携ワーキング

目的

スマートシティの各事業が新庁舎建設に反映されるよう、秋田市関係部門と連携をとり、新庁舎が「あきたスマートシティ・プロジェクト」を体感できるような場とする。

本年度実施内容

- 新庁舎建設と連携した事業提案。
- 基本設計の委託事業者への情報提供。

構成メンバー(案)

- 他ワーキングの主要構成メンバー
- 新庁舎基本設計委託事業者

地域LEEDワーキング

目的

「あきたスマートシティ・プロジェクト」の全体価値を客観的な指標で「見える化」するため、国際的評価指標（環境性能ラベリング）であるLEEDの導入を検討する。

本年度実施内容

- 地域ESCO事業、新庁舎建設との連携等の進捗状況を踏まえ、次年度以降の実施内容について検討する。

構成メンバー(案)

- 「基盤・ESCO」、「新庁舎連携」の各ワーキンググループの主要構成メンバー

環境リーダー・ビジョンワーキング

目的

あきたスマートシティ・プロジェクトをアジア・アフリカ地域の環境リーダー育成の場として位置づけ、東北大学大学院環境科学研究科が実施する「環境リーダー育成プログラム」の履修者を本プロジェクトの実施に参加させる。

また、あきたスマートシティ・プロジェクトのビジョン検討を継続して行い、秋田らしいスマートシティ実現を目指す。

本年度実施内容

- 環境リーダー育成プログラムとの具体的な連携方策および受け入れ体制の検討。
- あきたスマートシティ・プロジェクトのビジョンの検討。

構成メンバー(案)

- 東北大学大学院環境科学研究科
- 日本総合研究所
- 受け入れ対象となるプロジェクトのワーキングメンバー

年間スケジュール(案)

